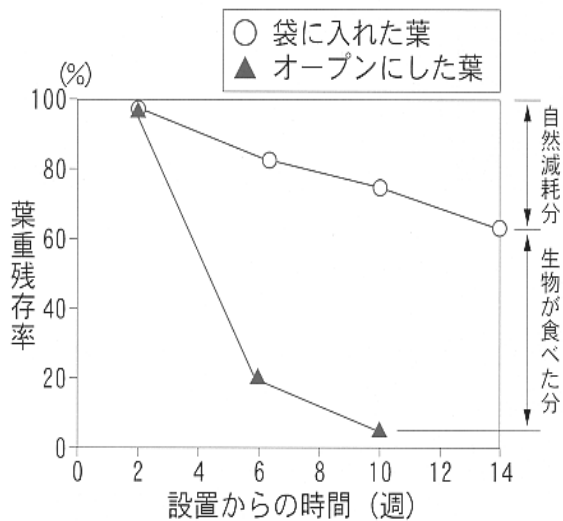


沿岸海底で利用される落ち葉

北海道の海岸線は河口近くまで山地が迫っているところが多く、森から川に落ち、そのまま海に流れていく葉っぱの量は決して少なくありません。では海にたどりついた落ち葉は一体どうなるのでしょうか？

小溪流が注ぎ込む石狩湾の沿岸海底に、メッシュ袋入（生き物が入れない）、オープン処理（生き物が自由に行き来できる）、ミズナラ葉をそれぞれ沈めてみたところ、設置から 10 週目までにオープン葉はほとんど食べられて無くなりました。一方、袋入りの葉は食べられていませんでした。盛んに落ち葉を食べていたのは、ヨコエビ類で、川の中だけでなく、沿岸河口域でも落ち葉がこうした生き物の重要な餌となっていることが確認されました。

（流域保全科）



海底に設置したミズナラ葉重の経時変化



海底に設置したリターバッグ



設置後 6 週目の細メッシュ内の葉



設置後 6 週目のオープン処理葉



落ち葉を盛んに食べていたヨコエビ類